

いちばんだいすき。一宮♡市制施行100周年  
記念に続き、国際芸術祭「あいち2022」が  
一宮市で開催



塩田 千春  
《不確かな旅》2016/2019、個展「魂がふるえる」森美術館、東京  
Photo: Sunhi Mang Courtesy of Mori Art Museum  
©JASPAR, Tokyo, 2021 and Chiharu Shiota

国際芸術祭「あいち2022」のテーマ『STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから』を考える為の9つのビジョンは一宮市制施行100周年記念のテーマと共通しています。「人生100年時代」市民もまちもいつまでも「健康・元気」であり続けられるよう、「歴史・伝統」や「芸術・文化」を大切に新しいまちの魅力を創造できるような一宮市ならではの事業を進めていきます。

今回、芸術監督を務める片岡真実さんは向山小学校、南部中学校、一宮西高校、愛知教育大

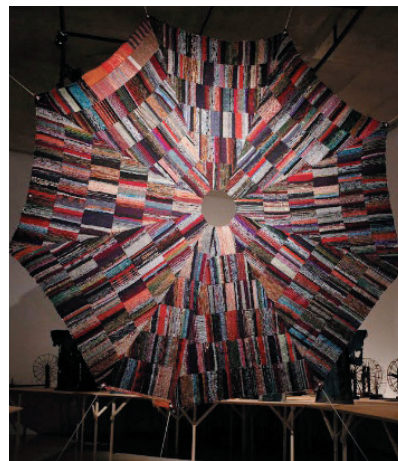


芸術監督 片岡 真実さん  
Photo: Ito Akinori

学美術科と学生時代を一宮で過ごされ、その後40カ国以上と世界中を飛び回り、アートの考え方、その作品のなんで？とその作者の生き方を追求。現代アートは日常から離れた所ではなく、ローカルなコミュニティへ接続することだと気づきます。そこで、今回愛知芸術文化センターのほか、一宮市、常滑市、有松地区の伝統を活かした身近な場所が舞台となり作品が展示されます。一宮で展示される場所や作品など、詳細については順次発表されますので楽しみに。

【開催期間：2022年7月30日～10月10日】

生きることは学び続けること、コロナ禍でも現代を、この瞬間を、どう生き抜くのかアートを通して考える。又一宮市議会としても新たな挑戦を考えていきます。



遠藤 薫  
《閃光と落下傘》2020、国際芸術センター青森  
Photo: Delphine Parodi

〔画像は参加予定者の作品です〕

## 編集後記

令和3年の12月は新型コロナ感染症も少し落ち着きを見せ、12月議会からコロナ対策を行いながら、全議員、各部署の皆さんが議場に集まり、会議を行うことができました。

しかし、新型コロナウイルスは依然収束しておりませんので、市民の皆様方におかれましても感染症対策に留意されますようお願い申し上げます。

### 議会だより編集委員会

|     |         |        |       |
|-----|---------|--------|-------|
| 委員長 | 本山 廣次   | 副委員長   | 鷗飼 和司 |
| 委員  | 木村 健太   | 大津 乃里予 | 市川 智明 |
|     | 小林 けいめい | 後藤 美由紀 | 服部 修寛 |

議会だより138についてのご意見をお聞かせください。(一宮市議会事務局 議事調査課 Tel. 0586-28-9139)

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト  
(ホームページ)からご覧いただけます。 ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター  
いちみん